

# 平成 29 年度 第 1 回「伊勢志摩定住自立圏共生学」運営会議議事録

【日 時】平成 29 年 4 月 20 日（木）18 時～19 時 00 分

【場 所】皇學館大学 9 号館 1 階 小会議室

【出席者】（伊勢市）辻企画調整課長（鳥羽市）山本企画経営室長（志摩市）澤村総合政策課長（玉城町）中川総合戦略課係長（度会町）中井政策調整課長（南伊勢町）柳原行政経営課長（明和町）朝倉防災企画課企画担当係長

（三重銀総研）伊藤専務取締役

（大学）齋藤教授、筒井教授、笠原教授、板井准教授、近藤准教授、千田准教授、池山助教、木村企画部長、森企画部地域連携推進室課長、梅川地域連携推進室員

\* 欠席 （大学）櫻井教授

会議冒頭、柳原南伊勢町行政経営課長の紹介が行われた。

【議 題】

## 1. 平成 29 年度事業計画及び運営会議日程と議題について

齋藤教授より配布資料をもとに説明がなされた。

（事業計画について）

- ・項目別、月別にお示ししているが、番号①～⑱の全 17 項目を今年度実施する計画。
- ・区分「教育」今年度新規項目：プロジェクト研究Ⅱ開講、2 年生対象に「伊勢志摩共生学」副専攻申請受付（運営会議日程について）
- ・お示した日程（案）で問題があれば、お教え願いたい。

審議の結果、異議なく了承された。（運営会議日程（案）了承）

## 2. 平成 29 年度 CLL 活動計画、学生募集計画について

池山助教より配布資料をもとに説明がなされた。

- ・今年度は 16 活動がスタート予定で、活動説明会を 5 月 8 日～6 月 20 日の間の毎月、火曜日に開催。
- ・「伊勢志摩定住自立圏共生学」副専攻には CLL 活動が 1 つ以上必要と言うこともあり、学生の関心も高まっている様子で、今後さらに参加学生・活動数増える見込み。今後みなさまの地域で何か学生が学ばせていただけるような案件があれば、ぜひご相談いただき何らかの活動につなげていければと考えている。

審議の結果、異議なく了承された。

## 3. 文部科学省統一指標フォローアップアンケート実施・協力について

齋藤教授より説明がなされた。

- ・本日、返信用封筒を添えて、アンケート用紙を配布させていただいている。連携自治体の長に回答いただくことになっているので、市長様・町長様にご回答いただくようお願い申し上げます。（締切：5 月 9 日）

審議の結果、異議なく了承された。

#### 4. 『伊勢志摩定住自立圏共生学』教育プログラムの行政チャンネルを利用した配信について

齋藤教授より説明がなされた。

・H26年度の計画時には、J-MOOCで配信するとしていたが、J-MOOCでの配信自体に経費が認められないということで、自前で配信の部分の経費を賄わなくてはならない事情がある。次善の策として、昨年度の運営会議で行政チャンネルの放送枠をご用意いただき、番組を流していただくことは概ね可能であるとのことをご回答をいただいているが、番組の制作も含めてお願いできるかご検討をお願いしたい。

地域住民の方へ自分の住んでいる町のことについてお知らせいただくことにもつながり、また本学としても番組制作ができれば地域資源・地域課題の認識ということにもつなげられ教育的効果も高いと考えているので、ご検討をお願いしたい。

(木村部長補足)

・今年度は1もしくは2自治体様に担当いただいた授業回について、20分程度の番組に再編集し、自治体チャンネルで試行的に配信することができればと考えている。次年度以降、番組数を増やしたい。

・科目Ⅰの内容を放送するのはスケジュール的に難しいと思われることから、科目Ⅱの授業を授業終了後編集し、行政チャンネルで放送できればと考えている。

問) 制作編集は、実際授業を行ったものを編集するのか、もしくは別途番組を制作するイメージか?

答) 授業風景を撮影して番組として作り上げていくのは、授業内容を作り上げる時にあらかじめご相談申し上げていかないと難しいのではないかと考える。

大学側としても番組制作、特に経費的な面で方法がないか検討したいと考えている。

経費等、難しい課題が多くあるかと思われるが、ご検討の程、お願い申し上げたい。

審議の結果、異議なく了解された。

#### 5. 『伊勢志摩定住自立圏共生学』科目Ⅲ・Ⅳの事後学修教材をMediaDEPOを使って学内ホームページに公開し、学生が閲覧できる体制の構築について

齋藤教授および木村部長より説明がなされた。

・Media DEPOの仕組みを使い、1回の授業のエッセンスを4枚程度のパワーポイントスライドにまとめ、その解説原稿を人工音声で読み上げる動画を作成、事後学修用教材として発信・閲覧できるようにしたい。このことについてご了承いただけるかご検討をお願いしたい。

・社会人履修生が業務の都合等で欠席した場合、その授業回について、大学で発行するIDとパスワードを用いて自宅など学外から閲覧いただくことが可能となる。

審議の結果、異議なく了解された。

#### 6. その他

特になし。

【報 告】

## 1. 平成 28 年度自己点検・評価委員会及び外部評価委員会(3 月)報告

齋藤教授より報告がなされた。

- ・議事録を現在、外部評価委員に確認いただいているところである。

異議なく了解された。

## 2. 平成 29 年度『伊勢志摩定住自立圏共生学』科目 I ～IV開講状況について(履修者数/社会人履修生)

齋藤教授より説明および報告がなされた。

- ・科目 I : 146 名、科目 II : 116 名、科目 III : 55 名、科目 IV : 62 名 (4/19 現在)
- ・うち、社会人履修生は科目 III : 3 名、科目 IV : 4 名

異議なく了解された。

## 3. 平成 29 年度「伊勢志摩共生学実習(地域インターンシップ)」A～D の実習内容と受入れ団体、事前指導と実施体制について

齋藤教授より配布資料をもとに説明および報告がなされた。

<事項書訂正>

誤) 春 D-【b】 (担当: 池山) 正) 春 D【d】 (担当: 池山)

- ・目標履修人数 30 名に対し、4/19 現在の登録者数 (A【a】～D【d】) 36 名で目標達成。

異議なく了解された。

## 4. プロジェクト研究 I・II の履修登録者数について

齋藤教授より報告がなされた。

- ・履修登録者数 I : 38 名、II : 34 名であった。最終到達目標値は全学で 70 名としている。(木村部長補足)
- ・伊勢志摩定住自立圏共生学では従来の卒業研究、卒業論文にあたる「プロジェクト研究」として、圏域をテーマとした研究に取り組む。プロジェクト研究 I・II 履修者数が、圏域を研究テーマに取り組んでいる学生の数とご理解いただければと思う。

異議なく了解された。

## 5. 平成 29 年度『伊勢志摩定住自立圏共生学』の副専攻履修登録者(2 年次)数について 副専攻履修登録者数(4 月 19 日現在)・・・22 名

齋藤教授より報告がなされた。

- ・副専攻認定要件は、認定要件科目のうち、19 単位以上を修得および 1 つ以上の CLL 活動に参加し、かつ GPA

が 2.5 以上（4 点満点）のものとされている。2 年次での登録となっている為、今年度がはじめての申請登録となる。

- ・登録学生の学部、学科の内訳は7月の第2回運営会議でお知らせする。

異議なく了解された。

## 6. 『伊勢志摩定住自立圏共生学』科目Ⅲ・Ⅳの補助教材(事前・事後学修教材)の発行について

齋藤教授より報告がなされた。

- ・事前・事後学修用に学生へ配布予定（4月末発行予定）。

異議なく了解された。

## 7. 平成 29 年度自己点検・評価委員会及び外部評価委員会(6 月)の開催について

齋藤教授より報告がなされた。

- ・6月1日（木）9：30 から 皇學館大学 9 号館 1 階 911 小会議室にて開催
- ・欠席の場合は、委任状をご提出いただくようお願いいたします。

異議なく了解された。

## 8. 第3回本事業取組み内容公表シンポジウム開催について

齋藤教授より報告がなされた。

- ・9月10日（日） 皇學館大学 6 号館 2 階 621 教室にて開催予定。

異議なく了解された。

## 9. 平成 28 年みらいづくり調査報告

筒井教授より配布資料をもとに説明および報告がなされた。

- ・圏域内の中学製、高校生、大学生を対象としたアンケート。配布数、回収率は資料参照。
- ・市町毎および全体の集計結果を、各市町の特徴が掴めるような形で今後提供いたします。
- ・H29 年度は研究期間最終年度に当たり、計画では本格調査実施としていたが、今年度は補充という形で追加調査を実施したい。インテンシブなインタビューを含めた質的調査が効果的かと考えている。分析を進めている上で必要な項目が出てきた場合にインタビューで補う形を考えている。

異議なく了解された。

## 10. その他

三重県生涯学習センター、皇學館大学、志摩市の共同講座案内

「田山花袋 「志摩めぐり」の風景」

## \*次回日程

次回（H29年度 第2回）運営会議は、

**平成29年7月20日(木)18時～** 皇學館大学 9号館 1F（911）にて開催されることが確認  
された。

以上